

2026 年 7 月 9 日

一般社団法人日本能率協会

**アートスキルの実践を通じて、ビジネスリーダーに求められる「直観力・感性や美意識」を磨く
「アートによる創造的リーダーシップ開発プログラム（CLA）」を新規開講**

一般社団法人日本能率協会（JMA、会長：中村正己）は、イノベーション創出に課題を感じている経営者・事業責任者、新しいリーダーシップを模索するマネージャーなどを対象に、アートスキルの実践を通じて、これからのビジネスリーダーに求められる「直観力・感性や美意識」を磨く「アートによる創造的リーダーシップ開発プログラム（CLA）」（全 8 回）を、2026 年 7 月 17 日（金）から、東京都内で新規開講します。

かつて世界を席卷し日本を支えた力は、緻密な分析と計画という「正解を導く力」でした。しかし、予測不能な現代において、過去のデータの延長線上に答えはありません。いま次世代のリーダーには、その論理に加え、自らの内面から湧き上がる「想い」や「動機」を起点とした「創造性」が求められています。

本プログラム（CLA=Creative and Innovative Leadership development program of Art）は、自己の内面と向き合い表出する「アートの力」を通じ、自分という答えのない問いと徹底的に対峙することで、「自らの意志と感性で、創造的な新しい価値を創出できるリーダー」を育成するものです。

学びの全体像は、①モノやデジタルで自分の価値を表現する「造形」、②自分との対話や観察により、美的感性を再定義する「探索」を行う「ワーク（実践）」、③手で考えるための基礎とビジネスへの活用法、④ビジネス実践と経営学理論に基づくイノベーション論を学ぶ「座学（理論）」で構成。

全 8 回のプログラムは、2026 年 7 月 17 日（金）～12 月 2 日（水）の期間、すべて対面で実施します。

主任講師に、工学修士、造形構想学修士・博士の朝山絵美氏を迎えたほか、武蔵野美術大学 理事長の長澤忠徳氏、愛知県立芸術大学 学長の白河宗利氏、慶応義塾大学 総合政策学部 教授の琴坂将広氏、お茶の水女子大学 基幹研究院自然科学系 助教（理学部生物学科）の毛内弘氏などの有識者による特別講演も実施予定です。



小会では、本プログラムを受講していただくことで、データの無い領域で意思決定を行う指針となる感覚を見つけていただきたいと思います。

【本件に関するお問い合わせ先】

一般社団法人日本能率協会 経営・人材革新センター 担当：川口
〒105-8522 東京都港区芝公園 3-1-22
TEL：03-3434-1955（土日、祝日を除く 9:00～17:00）／E-mail：jma-kyouiku@jma.or.jp

【報道関係の方のお問い合わせ先】

一般社団法人日本能率協会 広報室 担当：植草
E-mail：jmapr@jma.or.jp ／ TEL：03-3434-8620

■「アートによる創造的リーダーシップ開発プログラム（CLA）」概要

- ・会 期：2026年7月17日（金）～12月2日（水） ※全8回
- ・開催形式：対面
- ・場 所：日本能率協会東京本部（東京都港区芝公園 3-1-22） 他
- ・参加対象：イノベーション創出に課題を感じている経営者・事業責任者
新しいリーダーシップを模索するマネージャー
次世代の経営を担うリーダー候補
事業開発や商品企画、研究開発など新価値創造を担う方
- ・定 員：20名
- ・参加料：

会 期	日本能率協会法人会員（税込）	会員外（税込）
全8回・8日間	¥715,000／1名	¥792,000／1名

- ・申込方法：下記 URL にアクセスのうえ、Web からお申込みください。
JMA マネジメントスクール
https://school.jma.or.jp/products/detail.php?product_id=152941
※web からの申込みが難しい方は、JMA マネジメントスクールまでお電話にてお問合せください（電話:03-3434-6271）。
- ・公式 HP：<https://cla.jma.or.jp/>

■プログラム

回／日時	内 容	
2026 年 第1回：7月17日（金） 第2回：8月7日（金）	Phase 1 言葉と造形で「自分を再定義する」	イノベーションの源泉となる内発的動機に火を灯す 2 日間 自分自身の感性を「言葉」と「形」の両側から掘り下げ、イノベーションの源泉となる内発的動機に火を灯します。 大切にしている価値観や将来のビジョンを言語化し、自分の心を動かす美的感性や軸を明確にします。 ＜有識者講演：7/17 長澤忠徳 氏、8/7 白河宗利 氏＞
第3回：8月28日（金） 第4回：9月18日（金）	Phase 2 観察と造形で「美的判断を鍛える」	観察と造形により見る力と客観視する力を養う 2 日間 観察と造形、それらの理論を往復しながら、見る力と客観視する力を養います。 主観的である美的判断を研ぎ、客観的に説明できる力を育てます。“手で考えて感じて決めるリーダーシップ”のスキルの一端を獲得できます。 ＜有識者講演：9/18 琴坂将広 氏＞
第5回：10月9日（金） 第6回：10月23日（金）	Phase 3 論理と感性で、「伝わる構造をつくる」	感覚を構造へ変換し、ストーリーや見せ方を体得する 2 日間 感覚を構造へ変換し、相手に伝わるストーリーや見せ方を体得します。 情報設計・デザイン、対話を通じて、論理と感性を統合する力を養います。「自分」という正解の無いテーマに据えることで、複雑な内容を“伝わる形”に仕立てる実践的スキルが身につきます。 ＜有識者講演：10/9 毛内 拓 氏＞
第7回：11月13日（金）	Phase 4 あらゆる表現を統合し、「自分を社会に提示する」	体験した学びを統合し、「自分」を発信する 2 日間 これまでに体得した学びを統合し、「自分」を発信します。 自分自身を作品として、モノやデジタルで可視化し表現・発表することで、新たな示唆を得ます。組織内外で信頼を得る“クリエイティブリーダー”としての自覚と創造力が定着します。
第8回：12月2日（水）	創造的対話	

※プログラム詳細は公式 HP をご参照ください。

■主任講師：朝山絵美氏 プロフィール

工学修士（Master of Engineering）

造形構想学修士・博士（Ph.D. of Creative Thinking for Social Innovation）



同志社大学大学院工学研究科知識工学専攻（現・理工学研究科インテリジェント情報工学専攻）修士課程を修了。大学院では、人工知能技術を用いてオフィスで働く人々にとってのより良い環境づくりに関する研究に取り組む。

その後、カナダにて Co-Active® Training Institute（CTI）主催のコアアクティブ・コーチング・プログラムに参加し、個人の可能性を引き出すコーチング手法を修学。さらに、武蔵野美術大学大学院造形構想研究科修士課程にて、美術学とデザイン学を融合させたクリエイティブリーダーシップを学

び、2021年に修了。2024年には同大学院博士後期課程を修了し、博士（造形構想）を取得。

現在は、企業マネジング・ディレクターとして、人間中心の戦略立案に基づくコンサルティングを提供。経営者の情熱や企業の存在意義を起点に、生活者視点での価値創出を重視した「Human centric strategy」を独自に開発。ビジョンの再創造、新規事業の戦略立案など、経営の本質的なアジェンダに対するデザインアプローチを通じて、多数のプロジェクトを主導し、企業の変革と成長を支援している。

以上